

# いじめへの**対応力**を高める校内研修 進行台本



～司会者用資料～

検討項目	活動内容	声かけのポイント
<b>I 深刻化のリスク</b> <b>資料1</b> (目安：13分)	・深刻化の三つのキーワードに該当する内容（行動や発言、背景要因）について、意見を出し合う。 <b>①行為の反復性</b> <b>②アンバランスパワー</b> <b>③シンキングエラー</b> ※時間内でも、意見が出なければ次の検討項目に移ってよい。	<b>【発言の促進】</b> ・主観や想像でもかまいません。 ・どこに入るか迷った場合も、とりあえず意見を共有するため出してみてください。 ・今の意見に関連して、何か意見はありますか。 <b>【次のキーワードへの移行】</b> ・とりあえず次に移りますが、また思い浮かんだところで意見を出してください。
<b>II 対応のための判断</b> <b>資料2</b> (目安：7分)	(i) <b>表面</b> 判断の <u>3観点の有無</u> について、合意形成を行う。 <b>①本人の被害感（心身の苦痛）</b> <b>②影響を与える行為</b> <b>③客観性</b> (目安：5分)	<b>【発言の促進】</b> ・（例：本人の被害感）について、有無の判断に対して、何か意見はありますか。 ・意見が出なかった場合 <b>➡</b> （例：本人の被害感）について、「ある（ない）」と仮定したとき、それに反対する考えはありませんか。 <b>【3観点の有無の不合意】</b> ・ある観点の合意が得られない場合 <b>➡</b> 対応策を考えるための判断なので、ここでは保留にしておいて、次の対応方針でこの点を明らかにする策を挙げてください。
	(ii) <u>対応のための判断</u> をA～Gの中から決める。 (目安：1分)	<b>【判断の合意】</b> ・ここでの判断は（例：A）として、支援の方向性の例を確認し、対応策を考えましょう。 <b>【判断の不合意】</b> ・（i 判断の3観点の有無）において、ある観点の合意が得られなかった場合 <b>➡</b> 下の <b>早見表</b> で確認する 例：②行為、③客観性は「有」で合意し、 <u>①本人の被害感</u> で合意が得られない <b>➡</b> （例：①本人の被害感）について、合意が難しかったので、対応のための判断は、（例：AとD）の両方を意識しながら、対応策を挙げていくことにしましょう。

	(iii)裏面支援の方向性の例を確認する。 (目安：1分)	・このグループの判断は(例：A)なので、資料2の裏面の○○(例：Aの方向性の例の内容を読む)に留意しながら対応策を考えてください。
III 対応方針 <b>資料1</b> (i)個人作業 (ii)グループ共有 <b>※(iii)役割分担</b> (目安：18分)	(i)判断の方向性を踏まえ、深刻化のリスクを解消するための支援・対応策を付箋に書き出す。 青色→支援 赤色→指導 (目安：5分)	<b>【アイデアの促進】</b> ・留意点を参考に、考えられる対応をなるべくたくさん書き出してみてください。 ・質より量で結構です。 ・できるかできないかの判断は、ここではいりません。 ・他の人の意見を見させてもらって、自分のアイデアをプラスしてもOKです。
	(ii)付箋を模造紙に貼りながら、意見を共有する。 ・横軸(個人⇄集団) ・縦軸(緊急的⇄長期的) (目安：13分)	<b>【活動の促進】</b> ・他の人が貼ったところを見て、場所を決めてもらってもかまいません。 ・他の人が出したものを参考に、思いついた意見を書いて、貼り出してもOKです。
	<b>※時間があれば</b> (iii)優先順位を決め、高いものについて役割分担を決める。	・この中から優先順位の高いものを2～3個決め、校内の誰が、いつまでに対応するかを決めたいと思いますので、意見を出してください。

《初期判断※の**早見表**》(○：有，－：無)

※「初期判断」とあるが、随時判断で活用できる

3 観 点 の 有 無	① 本人の被害感	○	○	○	－	－	－	－	
	② 行為	○	－	－	○	○	－	－	
	③ 客観性	○	－	○	－	○	－	○	－
初期判断 の分類	A	A'	B	C	D	E	F	G	
	いじめ		いじめの疑い	被害的 (迫害的) 不安の増幅	深刻ないじめ の可能性 or いじめへの 発展を危惧	学校・学級風土 に対する危機感	集団における 関係性への不安	高い予防意識 or 不安感の表出	
緊急度	高								低
中心となる 支援の対象	個人	 被害的立場・報告者 加害的立場                      グループ(部活動)   学級                      学年                      学校                      集団							

※判断D：①本人が被害感を訴えていないため、現時点での緊急度は中程度だが、経過観察では特に注意が必要。